

地域振興に若い感性

伊東商高・浜松湖北高 オンラインで交流会

観光テーマに報告

伊東市健康保養地づくり実行委員会は、市の魅力を高校生の観点で創出して情報発信する「高校生観光おもてなし特派員事業」の一環で、「伊東市と市外の高校生との交流事業」をオンラインで実施した。

伊東市側からは伊東商業

高、市外側からは浜松湖北高(浜松市北区)が参加した。両校はこれまで、伊東市内で宿泊研修するなどして交流を深めてきた。今回は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の観点から、お互いの教室をネット回線をつないでの開催となった。



オンラインを通じて日頃からの取り組みを浜松湖北高側に説明する伊東商業高校の生徒たち＝伊東市で

伊東商は、観光ビジネスのカリキュラムを履修する生徒が、日頃から取り組む観光施設や飲食店などへの取材や情報発信手段などについて報告。浜松湖北は、地元の観光施設を紹介したり、学校概要を説明したりした。

事業は、観光振興に対して積極的に活動する高校生同士を交流させることで、お互いの活動への理解を深め、今後の活動に役立てようと開かれている。

(杉本三佐夫)